

# お手入れ時の注意事項

商品を長く使うために、商品に応じたこまめなお手入れと不具合が生じた時の調整が大切です。お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れは、しみ、腐食やさびの原因となり、他の不具合が発生します。

- 汚れがいたら早めにお手入れしてください。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみ、腐食やさびが進みやすいのでさらにこまめにお手入れしてください。また不具合が生じた場合、調整方法に従って調整してください。調整を行うことにより元に戻ることがあります。

## 【薬品への配慮】

- 有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）が表面に付着すると、ひび割れやはがれなどが生じますので、お手入れには有機溶剤を使用しないでください。
- 塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）が表面に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



## 【キズへの配慮】

- 金属たわしやカメノコタワシなどは傷つきやすいので、絶対に使用しないでください。表面にキズがつくおそれがあります。
- 砂などがついたままふき掃除をすると、表面にキズがつくおそれがあります。

## 【電動商品の場合】

- お手入れの時、電装部に水がかからないようにご注意ください。故障するおそれがあります。電装部に不具合が生じた場合は、まず商品をお求めの建築業者、工務店または販売店にご相談ください。

## 【調整する場合】

- 商品の調整に電動ドライバーは使わないでください。商品の不具合や破損の原因となります。
- 調整に必要な箇所以外のネジをゆるめないでください。商品の不具合や思わぬけがの原因となります。
- ご自身で調整を行う場合は、本章に記載する方法に従ってください。ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まず商品をお求めの建築業者、工務店、販売店、または、当社お客様相談室に修理を依頼してください。

# お手入れ方法

## アルミ製商品／スチール製商品／樹脂製商品／ アクリル・ポリカーボネート板

### ■ スチール製商品

・さび、腐食、色落ちに対する注意が必要です。表面に汚れがいたら早めに洗い落としてください。

・玄関ドアの鋼板表面を水や中性洗剤でふいても艶や色あせが改善されない場合は、研磨剤の入っていない鋼板に適したワックス（注1）を使ってお手入れする（注2）ことをお勧めします。

（注1）：（ワックスの一例） セラリカコーティングピュア

（注2）：ワックスを使用する場合には、その用途を確認し、説明書に従ってお手入れしてください。ドア鋼板に適さないワックスは、変色や汚損の原因となりますので使用しないでください。

### ■ 樹脂製商品

・ストーブやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがありますので、熱源を商品に近づけないでください。

・樹脂表面に殺虫剤などの薬剤を塗布・散布し付着しないようにご注意ください。薬剤が付着するとひび割れやはがれが発生するおそれがあります。

### ■ アクリル・ポリカーボネート板

・有機溶剤を含む、殺虫剤やガラスクリーナーは商品に付着しないようにしてください。ひび割れの原因になります。

## ■ 通常のお手入れ

### 1 表面のホコリ・砂を落とす

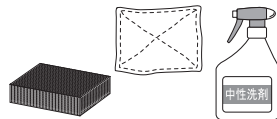
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



### 2 水ぶきする

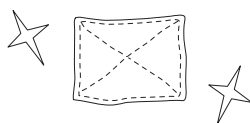
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



### 3 水分をふき取る

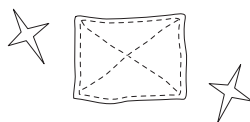
乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



## ■結露・雨水などがかった場合

### 1 水分をふき取る

すみやかに乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



## ガラス

- ガラス表面にキズがつくと割れるおそれがありますので、お手入れの際は必ず柔らかい布をご使用ください。
- 表面にキズがついてしまった場合はお早めに、商品をお求めの建築会社、工務店、または販売店にご相談ください。

## ■ガラスのお手入れ

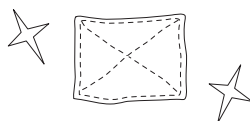
### 1 汚れをふき取る

柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れをふき取ります。



### 2 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



## ハンドル・引手

(→P.135「■通常のお手入れ」)

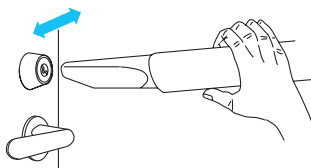
## カギ・カギ穴

- 油の含まれている潤滑剤（CRC、シリコンスプレーなど）は使用しないでください。油にホコリやゴミがついてカギ穴内部に粘着し、作動不良や故障の原因となります。

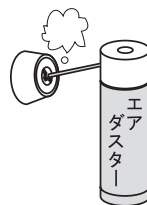
### ■カギ穴のお手入れ

#### 1 ゴミを吸い出す

掃除機をカギ穴につけ、左右に振って中のゴミを吸い出します。



または  
パソコンのキーボードのゴミを飛ばすエア  
ダスターなどを使って中のゴミを吹き飛ば  
します。

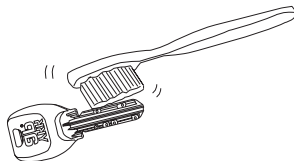


### ■カギのお手入れ

#### 1 汚れをかき出す

古い歯ブラシなどで、きざみ部分やミゾの  
汚れをかき出します。

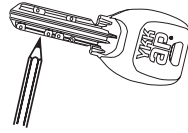
※定期的に掃除をしてください。



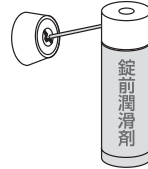
## ■カギ穴の抜き差しがスムーズにできない、または重い時

### 1 きざみ部分やミゾを黒く塗る

カギのきざみ部分やミゾを鉛筆でなぞり、黒く塗ります。



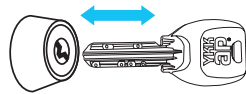
または  
錠前潤滑剤をカギ穴に少量スプレーします。



※錠前潤滑剤のご購入はYKKAP Parts Shop まで。  
(<http://parts.ykkap.co.jp/shop/>)

### 2 カギを抜き差しする

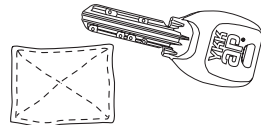
カギ穴に差し込み、数回抜き差しします。



### 3 黒い粉や潤滑剤をふき取る

カギに付着した黒い粉または潤滑剤を布などでふき取ります。

※必ずふき取ってください。そのまま使用すると、衣服等を汚す場合があります。

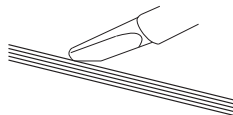


## 下枠・レール

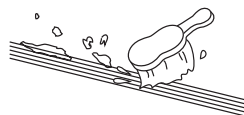
- 下枠やレールは特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすい所です。こまめにお手入れしてください。

### 1 砂やホコリを吸い取る

レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。

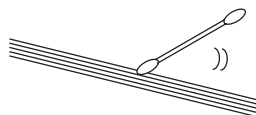


または、柔らかいブラシで砂やホコリを落とします。



### 2 汚れをふき取る

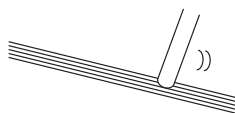
割り箸の先に布を巻きつけ、さらに汚れをふき取ります。



### 3 ロウを塗って引戸を往復させる

レールにロウなどを塗り、引戸を往復させた後、ロウをふき取ります。

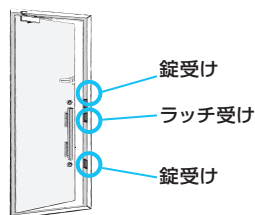
レールと戸車ローラー部分のゴミを取り除くことができます。



# 玄関ドア・勝手口ドア

## ラッチ受け・錠受けの調整方法

ドアの閉まりが悪くなったり、カギがかかりにくくなった場合は、ラッチ受けまたは錠受けの位置を調整してください。



### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

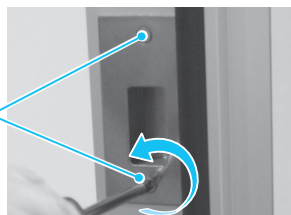
#### 1 ドアを開ける

ドアを開け、閉まらないようにドアストッパーなどで固定します。

#### 2 調整ネジをゆるめる

プラスドライバーで調整ネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

調整ネジ

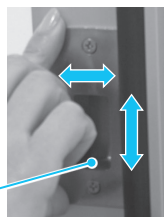


#### 3 ラッチ受けまたは錠受けを調整する

ラッチ受けまたは錠受けを上下左右に動かして位置を調整します。

※「ヴェナート」「プロント」のラッチ受けの調整は次ページを、ご確認ください。

錠受け



#### 4 調整ネジをしめる

調整ネジを時計回りにまわしてしめます。

※ドアの閉まりやカギのかかり具合が悪い場合は、手順1～3を繰り返し、ラッチ受けまたは錠受けの位置を調整してください。



## 「ヴェナート」「フロント」のラッチ受けの場合

# 1 ドアを開ける

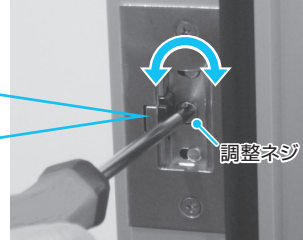
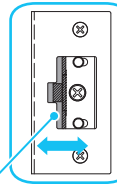
ドアを開け、閉まらないようにドアストッパーなどで固定します。

# 2 調整ネジをまわして位置を調整する

プラスドライバーで調整ネジをまわして、調整板の位置を調整します。

※調整ネジを1/8回転(45°)まわすごとに、調整板が横方向に1mm単位で移動します。

調整板



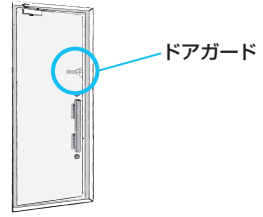
# 3 ドアを閉めて確認する

ドアを閉めて、閉まり具合やカギのかかり具合を確認します。ドアの閉まり具合やカギのかかり具合が悪い場合は、手順1~2を繰り返し、調整板の位置を調整してください。



## ドアガードの調整方法

ドアガードがガタついたり、かかりにくくなったりした場合は、ドアガードの位置を調整してください。  
 ドアガードの位置や形状は、商品によって異なる場合があります。ここでは、通風／ロック機構付タイプの写真を用いて説明しています。



### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

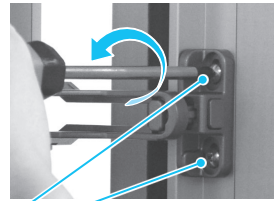
#### 1 ドアガードをセットする

ドアガードをセットし、ドアを開けた状態で閉まらないように固定します。  
 →P.104「ドアガードのセット方法」

#### 2 取り付けネジをゆるめる

プラスドライバーで取り付けネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

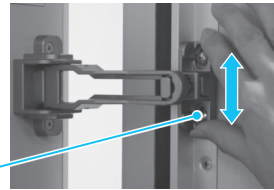
- ネジは絶対にはずさないでください。窓内部の部品がはずれ元に戻せなくなるおそれがあります。



取り付けネジ

#### 3 受け金具の位置を調整する

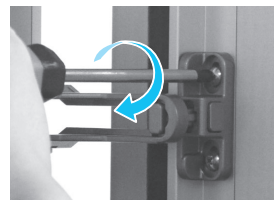
受け金具を上下に動かして位置を調整します。



受け金具

#### 4 取り付けネジをしめる

取り付けネジを時計回りにまわしてしめます。

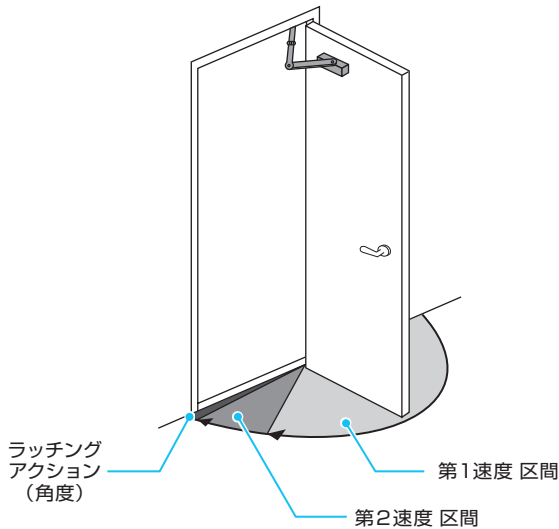


# ドアクローザーとは

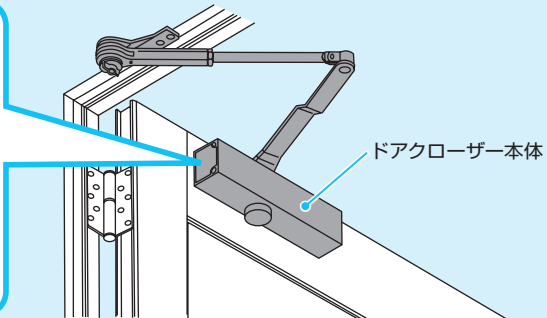
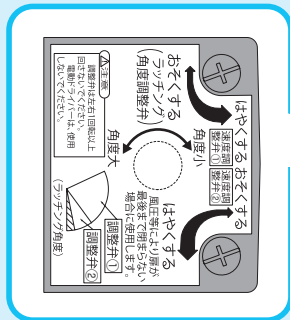
ドアクローザーは、ドアの閉まる速度を制御している部品です。  
ドアから手を離して自然にしまる時の2つの区間の速度と閉まりきる直前でドアを素早く閉める（ラッチングアクション）角度を調整できます。

## ご使用前に確認してください

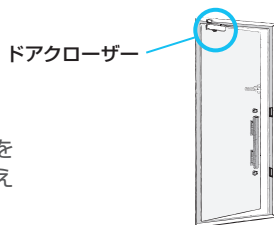
- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。



ラベル表示も参考にしてください。



# ドアの閉まる速度の調整方法

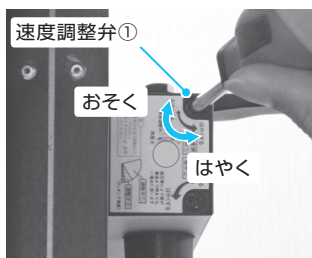


ドアが閉まりにくくなったり、ドアが「バタン」と大きな音を立てて閉まるようになった時、また、ドアが閉まる速度を変えたい時は、ドアクローザーの閉まる速度を調整してください。ドアクローザーの付いたドアを無理やり開閉しないでください。油漏れなど故障の原因となります。

## 1 第1速度区間の速度を調整する

プラスドライバーで速度調整弁①をまわして、第1速度区間の速度を調整します。

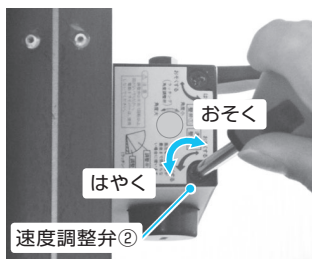
- ネジは絶対にはずさないでください。ネジを紛失したり、部品が落下したりするおそれがあります。
- 調整弁(ネジ)をまわしすぎないでください。油漏れを起こす可能性があります。



## 2 第2速度区間の速度を調整する

プラスドライバーで速度調整弁②をまわして、第2速度区間の速度を調整します。

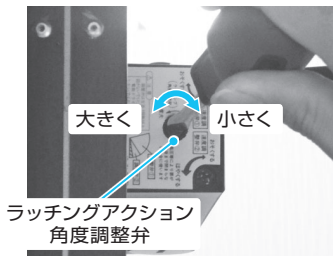
- ネジは絶対にはずさないでください。ネジを紛失したり、部品が落下したりするおそれがあります。
- 調整弁(ネジ)をまわしすぎないでください。油漏れを起こす可能性があります。



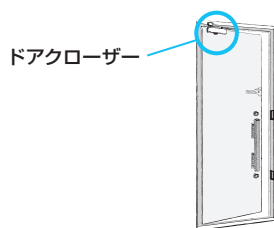
## 3 ラッチングアクションの角度を調整する

マイナスドライバーでラッチングアクションの角度を調整します。(通常はシールで封印されています。不要意にさわらないでください)

- ラッチングアクションの角度を必要以上に大きくしないでください。角度が大きいまま使用すると、指などはさみやすくなり、けがをするおそれがあります。



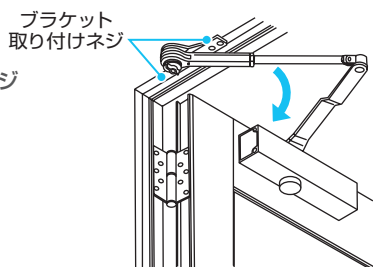
# ドアクローザーの取り付けネジの しめつけ方法



ドアがスムーズに閉まらなくなったり、閉まる時に「バタン」と大きな音がするようになったりした時は、ゆるんだドアクローザーの取り付けネジをしめつけてください。

## 1 ドアを開ける

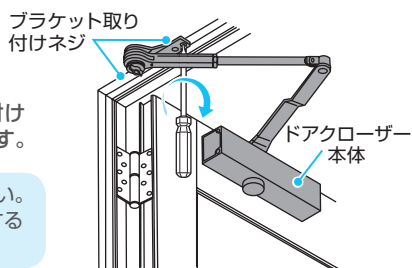
ドアクローザーのブラケット取り付けネジが見える位置までドアを開けてください。



## 2 ブラケット取り付けネジをしめる

プラスドライバーでブラケット取り付けネジを時計回りにまわしてしめつけます。

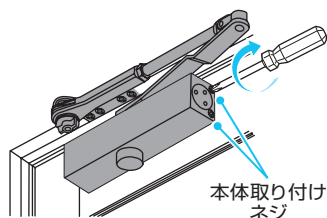
- ネジは絶対にはずさないでください。ネジを紛失したり、部品が落下するおそれがあります。



## 3 本体取り付けネジをしめる

プラスドライバーで本体取り付けネジを時計回りにまわしてしめつけます。

- ネジは絶対にはずさないでください。ネジを紛失したり、部品が落下するおそれがあります。

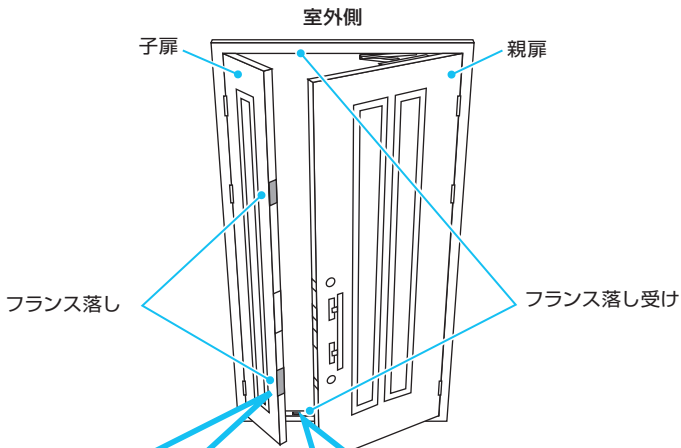


## フランス落としとは

両開き扉、または親子扉のカギが付いていない扉を固定するために用いる戸締まり金具です。扉の側面に付いたレバーを操作すると、扉の上下からピンが出る仕組みになっています。上枠や下枠に設けたフランス落とし受けの穴にピンが入ることで扉が固定されます。

### ご使用前に確認してください

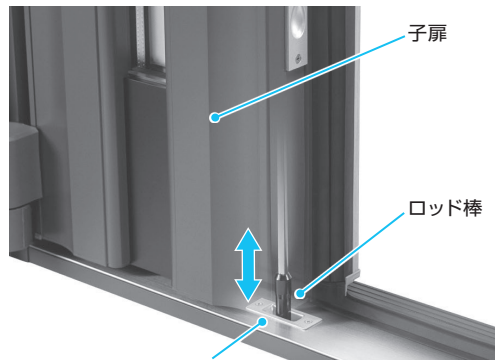
- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。



フランス落とし



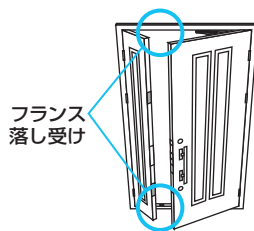
フランス落とし受け



## フランス落し受けの調整方法

子扉がガタついたり、ツマミ（フランス落し）が動かしにくくなったりした時には、フランス落し受けの位置を調整してください。

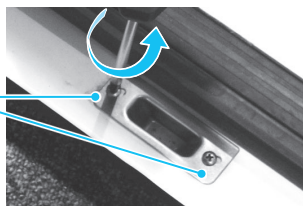
ここでは、下枠のフランス落し受けの調整方法を説明しています。



### 1 ネジをゆるめる

プラスドライバーで下枠にあるフランス落し受けの取り付けネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

- ネジは絶対にはずさないでください。ネジを紛失したり、部品が落下するおそれがあります。

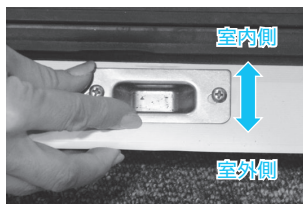


### 2 フランス落し受けの位置を調整する

フランス落し受けを動かして位置を調整します。

※調整範囲：2mm

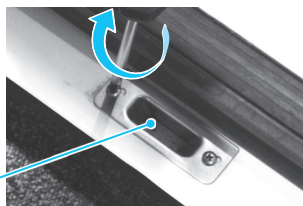
※フランス落しがかかりにくい場合：室外側へ  
※子扉のガタつきが大きい場合：室内側へ



### 3 ネジをしめる

プラスドライバーで取り付けネジを時計回りにまわしてしめます。

フランス落し受け

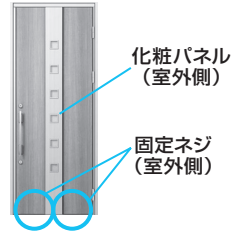


### 4 上枠のフランス落し受けを調整する

手順1～3を行って、上枠にあるフランス落し受けの位置も調整します。

## 化粧パネルの取りはずし方 (ヴェナート)

玄関ドアの化粧パネルは、お手入れの際などに取りはずすことができます。  
ここでは、玄関ドア「ヴェナート」の化粧パネルの取りはずし方、取り付け方を説明しています。



### ご使用前に確認してください

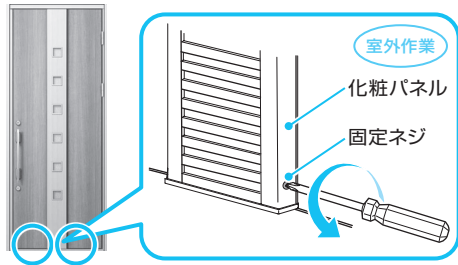
- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 玄関ドア「ヴェナート」の場合

#### 1 固定ネジをはずす

プラスドライバーで化粧パネルの下部にある固定ネジ（2か所）を反時計回りにまわしてはずします。

- 取りはずしたネジをなくさないように注意してください。



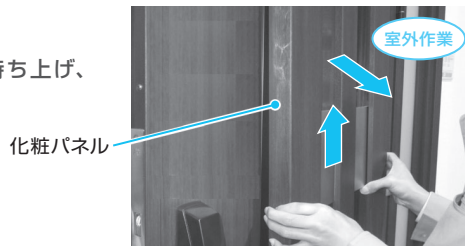
#### 2 ドアを開ける

化粧パネルを取りはずす際に、上枠に化粧パネルが当たらないよう、ドアを少し開けた状態で固定します。

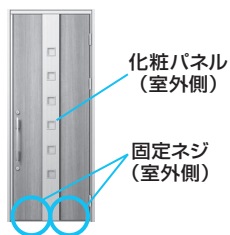
- ドアを開けずに化粧パネルを持ち上げないでください。上枠に化粧パネルが当たって損傷するおそれがあります。

#### 3 化粧パネルを取りはずす

化粧パネルを1～2cm程度持ち上げ、手前に引いて取りはずします。



## 化粧パネルの取り付け方 (ヴェナート)



### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 玄関ドア「ヴェナート」の場合

#### 1 ドアを開ける

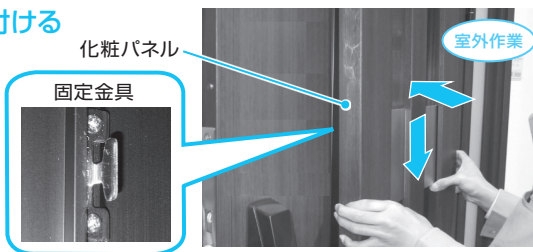
室外作業

化粧パネルを取り付ける際に、上枠に化粧パネルが当たらないよう、ドアを少し開けた状態で固定します。

- ドアを開けずに化粧パネルを持ち上げないでください。上枠に化粧パネルが当たって損傷するおそれがあります。

#### 2 化粧パネルを取り付ける

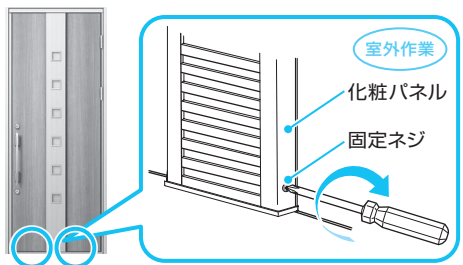
化粧パネル裏側の固定金具（4か所）をドアの穴に引っ掛けて化粧パネルを下げます。



#### 3 固定ネジをしめる

プラスドライバーで化粧パネルの下部にある固定ネジ（2か所）を時計回りにまわしてしめます。

※化粧パネルがはずれないことを確認してください。



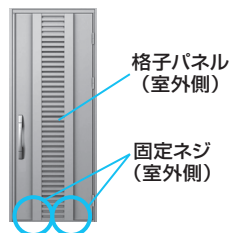


# 通風ドア（上げ下げ通風機構）

## 格子パネルの取りはずし方 （ヴェナート）

通風ドアや通風引戸の格子パネルは、お手入れの際などに取りはずすことができます。

ここでは、玄関ドア「ヴェナート」（上げ下げ通風機構）の格子パネルの取りはずし方、取り付け方を説明しています。



格子パネル  
（室外側）

固定ネジ  
（室外側）

### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 玄関ドア「ヴェナート」の場合

※格子パネルの取りはずし方は、「化粧パネルの取りはずし方」と同じです。→P.235

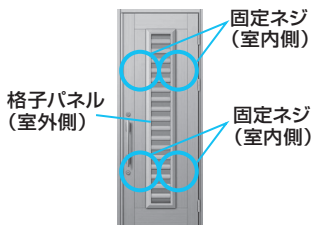
## 格子パネルの取り付け方（ヴェナート）

※格子パネルの取りはずし方は、「化粧パネルの取り付け方」と同じです。→P.236

## 格子パネルの取りはずし方（プロント）

通風ドアや通風引戸の格子パネルは、お手入れの際などに取りはずすことができます。

ここでは、玄関ドア「プロント」の格子パネルの取りはずし方、取り付け方を説明しています。



### ご使用前に確認してください

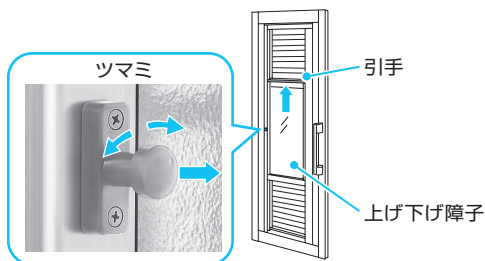
●必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

●必ず2人以上で作業を行ってください。

### 玄関ドア「プロント」の場合

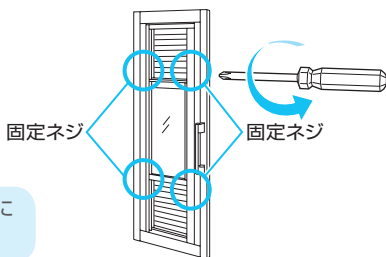
#### 1 上げ下げ障子を開ける

ツマミを引き出しながら右（または左）に45°まわし引手を持って、上げ下げ障子を開けます。



#### 2 固定ネジをはずす

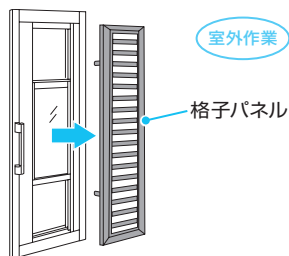
一人が室外側から格子パネルを支えます。もう一人が室内側からプラスドライバーで固定ネジ（4か所）を反時計回りにまわしてはずします。



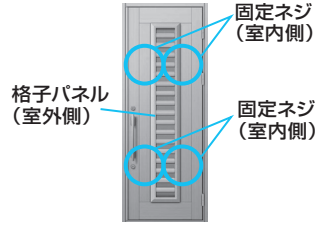
●取りはずしたネジをなくさないように注意してください。

#### 3 格子パネルを取りはずす

格子パネルを手前に引いて取りはずします。



# 格子パネルの取り付け方（プロント）



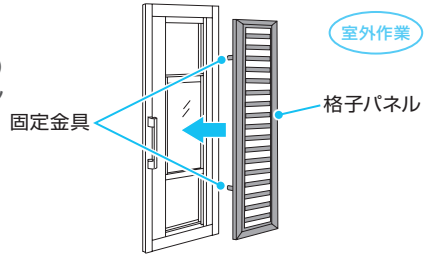
## ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。
- 必ず2人以上で作業を行ってください。

## 玄関ドア「プロント」の場合

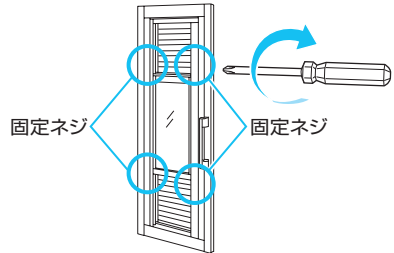
### 1 格子パネルを取り付ける

室外で格子裏側の固定金具（4か所）を上げ下げ障子に合わせて格子パネルを取り付けます。



### 2 固定ネジをしめる

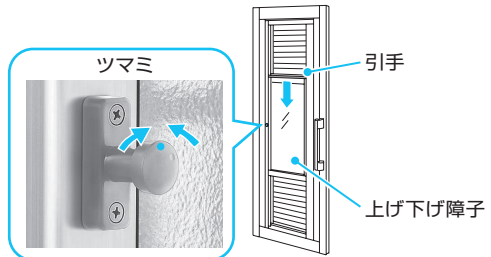
一人が室外側から格子パネルを支えます。もう一人が室内側からプラスドライバーで固定ネジ（4か所）を時計回りにまわしてしめます。



### 3 上げ下げ障子を閉める

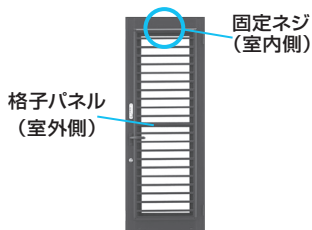
引手を持って上げ下げ障子を閉め、ツマミを右（または左）に45°まわして目印を上に合わせてみます。

※格子がはずれないことを確認してください。



## 格子パネルの取りはずし方 （勝手口ドア・勝手口引戸）

通風ドアや通風引戸の格子パネルは、お手入れの際などに取りはずすことができます。  
ここでは、「勝手口ドア」の格子パネルの取りはずし方、取り付け方を説明しています。



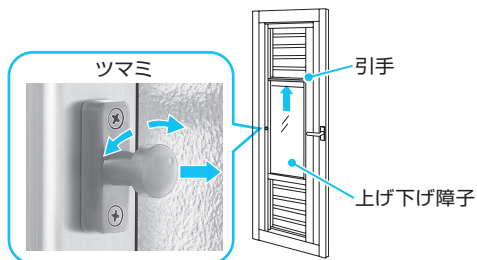
### ご使用前に確認してください

●必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

●必ず2人以上で作業を行ってください。

#### 1 上げ下げ障子を開ける

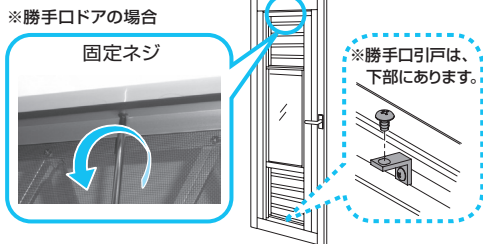
ツマミを引き出しながら右（または左）に45°まわし引手を持って、上げ下げ障子を開けます。



#### 2 固定ネジをはずす

プラスドライバーで固定ネジを反時計回りにまわしてはずします。

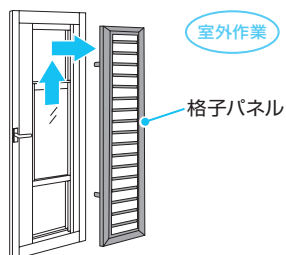
●取りはずしたネジをなくさないように注意してください。



#### 3 格子パネルを取りはずす

室外に移動し、格子パネルを1cm程度持ち上げ、手前に引いてはずします。

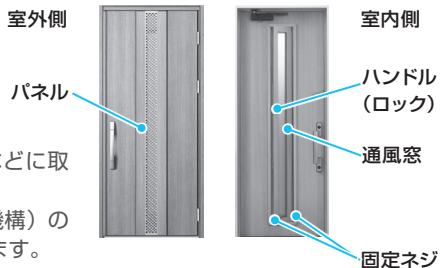
※ハンドルをよけながらはずします。



# 通風ドア(内開き通風機構)

## パネルの取りはずし方 (ヴェナート)

通風ドアや通風引戸のパネルは、お手入れの際などに取りはずすことができます。  
ここでは、玄関ドア「ヴェナート」(内開き通風機構)のパネルの取りはずし方、取り付け方を説明しています。



### ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

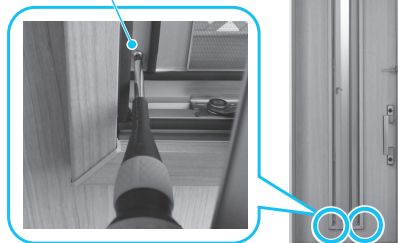
### 玄関ドア「ヴェナート」の場合

#### 1 通風窓を開け、固定ネジをはずす

通風窓を全開(40度)にし、プラスドライバーで下部にある固定ネジ(2か所)を反時計回りにまわしてははずします。

- 取りはずしたネジをなくさないように注意してください。

固定ネジ(左右2か所)



#### 2 ドアを開ける

パネルを取りはずす際に、上枠にパネルが当たらないよう、ドアを少し開けた状態で固定します。

- ドアを開けずにパネルを持ち上げないでください。上枠にパネルが当たって損傷するおそれがあります。

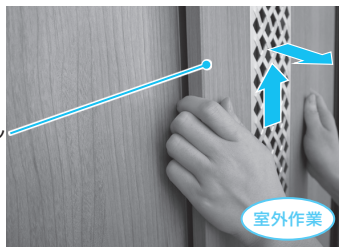
室外作業

#### 3 パネルを取りはずす

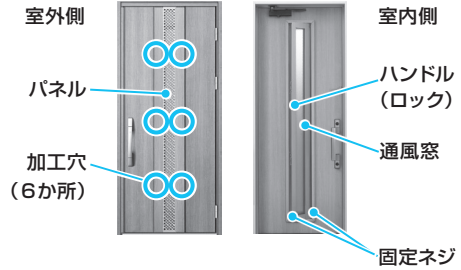
パネルを1~2cm程度持ち上げ、手前に引いて取りはずします。

- 商品破損のおそれがありますので、取りはずしたパネルは静かにおいてください。

パネル



# パネルの取り付け方 (ヴェナート)



## ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

### 玄関ドア「ヴェナート」の場合

## 1 ドアを開ける

室外作業

パネルを取り付ける際に、上枠にパネルが当たらないよう、ドアを少し開けた状態で固定します。

- ドアを開けずにパネルを持ち上げないでください。上枠にパネルが当たって損傷するおそれがあります。

## 2 パネルをドアに仮付けする

パネルを持ち、側面から固定金具と加工穴(6か所)の位置を確認しながら差し込みます。

※パネルがドアに引っ掛かります。(仮り付け)



## 3 パネルを取り付ける

パネルを少し持ち上げながらドアに押し当て、固定金具を引っ掛けます。

※パネルとドアの間にすき間が無いことを確認してください。

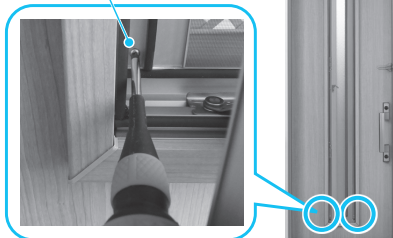


## 4 通風窓を開け、固定ネジをしめる

通風窓を開け、プラスドライバーで化粧パネルの下部にある固定ネジ(2か所)を時計回りにまわしてしめます。

※パネルがはずれないことを確認してください。

固定ネジ(左右2か所)



## 5 通風窓を閉める

通風窓を閉め、ロックします。

